

# 家族の状況表

別紙2

申込者氏名	生年月日	職業	勤務先名称等	自宅通学又は 自宅外通学の別
本人	年月日 ( 歳)			自宅 ・ 自宅外

<申込者の家族欄>

続柄	氏名	生年月日 (年齢)	職業	職業等 勤務先名称等	申込者と		合計所得金額
					住居	生計	
		年月日 ( 歳)			同・別	同・別	
		年月日 ( 歳)			同・別	同・別	
		年月日 ( 歳)			同・別	同・別	
		年月日 ( 歳)			同・別	同・別	
		年月日 ( 歳)			同・別	同・別	

以下は申込者以外で学生・生徒・児童である家族の記載欄

続柄	氏名	生年月日 (年齢)	学校の別	自宅通学又は 自宅外通学の別	国公立又は 私立の別	申込者と		
						住居	生計	
		年月日 ( 歳)		自宅 ・ 自宅外	国公立 ・ 私立	同・別	同・別	
		年月日 ( 歳)		自宅 ・ 自宅外	国公立 ・ 私立	同・別	同・別	
		年月日 ( 歳)		自宅 ・ 自宅外	国公立 ・ 私立	同・別	同・別	
		年月日 ( 歳)		自宅 ・ 自宅外	国公立 ・ 私立	同・別	同・別	
家族についての特記事項								

※ 裏面に記入上の注意事項を記載していますので、よく読んでから記入してください。

# 記入上の注意事項

## 1 「家族の状況表」

- ア 本人欄のうち「職業」・「勤務先名称等」欄は、勤務、就労しながら、修学する場合にのみ記入してください（通信制の場合等）。
- イ 申込者の家族欄には、同居・別居を問わず、申込者の父母及びその他生計を一にする者の全員を記入してください。
- ウ 家族のうち「生計主体者」に○印を付してください。（「統柄」欄、又は申込者本人の場合は「氏名」欄の左）
- エ 「職業等」欄は、「会社員」、「自営」、「パート」、「無職」などと記入し、勤務者であれば勤務先の名称を、自営業であれば「鮮魚商」などと記入してください。
- オ 「合計所得金額」欄は、所得・課税証明書の合計所得金額（所得金額合計）を記入してください（生活保護世帯等の場合は、記入不要）。
- カ 学校や保育園に在学する者は「申込者以外で学生・生徒・児童である家族の記載欄」へ記入してください。「学校の種別」へは、次の【種別】の中から該当するものを記入するとともに、「自宅通学又は自宅外通学」、「国公立又は私立」の該当するものに○印を付してください。  
【種別】 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、短期大学、専修学校（高等課程・専門課程）
- キ 「申込者と住居・生計」欄については、それぞれ「同・別」の該当するものに○印を付してください。

## 2 「家族についての特記事項」欄

次のような事実がある場合は、それぞれ必要な事項を記入し、ア、イについては証明になるもの（写）を添付してください。

- ア 障害を持つ方がおられる場合は、氏名・障害等級など障害の程度。 ※障害者手帳の（写）を添付
  - イ 申込日現在、2年以上にわたる期間療養中の方、又は療養を必要と認められる方がおられる場合は、氏名及び1年間の療養費（ただし、保険等により補填された金額は控除した後の額）。 ※領収書（請求書）の（写）等を添付
  - ウ 母子・父子世帯に該当する場合（次のいずれかに該当するものをいいます。）は、その旨。
    - a 母又は父と18歳未満の子の世帯
    - b 母又は父と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない（年間所得金額が50万円以下のものをいう。）祖父母の世帯
    - c 18歳未満の子の世帯
    - d 祖父母と18歳未満の子の世帯
    - e 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
    - f 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
  - （注1）18歳以上の就学者（本人を含む。）及び長期療養、心身障害等のため経済力のない者は、18歳未満の子として扱います。
  - （注2）祖父母及び兄弟には、それぞれ一方だけの場合も含まれます。
  - （注3）父又は母の行方不明や別居離婚調停中の場合、学生の申出及び学校の面接等により実態が確認できれば、母子・父子世帯として差し支えありません。
- エ その他特記すべき事項（所得、家庭環境の急な変動等）があれば、記入してください。